



SALAM KYRGYZSTAN!

サラーム・キルギス・ツアー 2011 夏



日本とキルギスの青年交流プロジェクト
【第1弾】ビジット・キルギス・キャンペーン



美しく連なる山々の景観と湖の国キルギス。天山山脈の峰々。見渡す限り広がる大草原とそこに暮らす遊牧民。夏の間、湖の周囲には遊牧民が集まり、ほとりに遊牧民のテントであるユルタが立ち並びます。キルギスは中央アジアの国の中でも珍しく砂漠は存在せず、緑が非常に豊かな国です。また美しい星空も魅力です。天山山脈をはさんで南方の中国新疆ウイグル自治区、または、アラ山脈をはさんで北方のカザフスタンからやってくると、見渡す限り広がる大平原に感激するでしょう。「天山の真珠」と言われるイシク・クル湖では、湖畔一面に咲き乱れる花々が迎えます。また、日本人と最も近い民族とも言われ、顔立ちなども日本人と区別のつかないくらいです。この夏、そんなキルギスとの交流プロジェクト「サラームキルギスツアー」を実施します。日本語を学ぶキルギス人学生との交流やホームステイ体験、相互交流に関するワークショップなども開催。もっと身近にキルギスを感じてください。



日本とキルギスの青年交流プロジェクト

企画：毎日エデュケーション

JKB（ジャポン・キルギス・ビリムディギノキルギスにて財団申請中）

協力：キルギス観光業協会、トルコ航空 東京支店

運営事務局：株式会社毎日エデュケーション 事業推進室

電話：03-6267-4188 FAX：03-3215-8293 e-mail：salam-kyrgyzstan@myedu.co.jp

100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9F



日程表 (予定)

日程	時間	スケジュール	食事	滞在
1日目	12:00 18:05	成田発 イスタンブール着 着後ホテルへ	-/機/-	ホテル
2日目	終日 18:00	自由行動 ※オプションにてイスタンブール市内観光ツアーあり イスタンブール発	朝-/機	機内泊
3日目	02:15 午後 夜	ビシュケク・マナス空港着 着後ホテルへ ホテルにて休憩 ビシュケク市内観光 (アラトー広場、ホワイトハウス、国立歴史博物館、フィルハーモニー・コンサートホール、オシュ・パザール、ドウボーヴィ公園など) 懇親会 (夕食会) 夕食後、キルギス人宅へ (ホームステイ)	-/-/夜	ホームステイ
4日目	午前 午後 夜	市内観光 (アクベシム遺跡、プラナの塔など) 昼食はトクモク市のキルギス人家庭にて家庭料理 チョルボンアタへ イシュククル湖到着、ホテルチェックイン後は自由行動	朝/昼/-	ホテル
5日目	午前 午後 夕方	朝食後、ホテルチェックアウト カラコル、プレジエヴァルスク博物館、ダウンガンモスク、聖三位一体教会などを見学 周辺地区の観光 (ジェティ・オグズ、タムガなど) ホテル到着 (ゲルホテルを予定) 着後自由行動	朝/-/-	ホテル
6日目	午前 午後 夜	タムガのサナトリウム (軍用温泉保養施設) への訪問 昼食 ビシュケクに向けて出発 ビシュケク着 着後、ホームステイ先へ 各家庭でゆっくりお過ごし下さい。	朝/-/夜	ホームステイ
7日目	午前 午後 夕方	アラアルチャ国立公園観光 市内ホテルにてワークショップ開催 「キルギスの観光発展について」「 これからのキルギスと日本の相互協力」 夜：フェアウェルパーティー (演奏会) 終了後ホテルへ	朝/昼/夜	ホテル
8日目	早朝 05:45 08:35 16:35	ホテルチェックアウト後空港へ ビシュケク発 イスタンブール着 着後自由行動。イスタンブール市内自由行動 イスタンブール発	機/-/機	機内泊
9日目		10:10 成田着 着後解散	機/-/-	



※訪問先やスケジュールは変更することがございますので最終日程表でご確認下さい。



■キルギス旅行協会会長

KAZAKOV DANIYAR からのメッセージ

キルギス旅行協会より、そして私自身からも、キルギスの兄弟と言われる日本国民の皆様にご心からご尊敬申し上げます。そして、この度皆さんをキルギスの首都ビシュケク市とキルギスの真珠といわれるイシュククリ湖にご招待できることを光榮に思っております。特に、日本を代表してお越しになる皆さんにキルギスのホスピタリティをお見せできることを楽しみにしております。

今回のデジタルキルギスキャンペーンは、きっと両国の友好関係に貢献できるプロジェクトになると思います。昔からホスピタリティとおもてなしの心を持つキルギス人にとって、一番の贈り物は「お客様」です。今回、キルギスに来てくれる皆様は、私たちにとって一番の贈り物なのです。ようこそキルギスへ！



■キルギス共和国JICA帰国研修員同総会会長 KOICHUMANOV TALAIBEK

キルギスと日本は長年の友好関係の歴史があります。日本は援助国としていつもキルギスを支援してくれた国です。そして、今回はキルギスにそんな友好国よりお客様を招待できること非常に光榮に思っております。

緊張するニュースから目の離せない日が続く中、被災地のために何が出来るかを考え、毎日過ごされていると存じます。特に日本の現状を乗り越えて、明るい未来を創ろうとしている日本の若者に心から尊敬申し上げます。若者は国の未来であるということを忘れてはいけません。キルギスに来てくれる日本の若者を首を長くしてお待ちしております。そして、きっとキルギスでたくさん良い思い出を作って帰ることを願っております。ようこそキルギスへ！

SALAM KYRGYZSTAN TOUR 2011

サラーム・キルギス・ツアー 2011夏

日本とキルギスの青年交流プロジェクト

- 出発日 : ①2011年8月19日(金)、②8月27日(土)、③9月17日(土)
- 発着地 : 東京(成田)
- 期間 : 7泊9日
- 催行最少人数: 各日程10名(定員20名)
- 宿泊 : ホームステイ、アックメホテル同等クラス
- 旅行代金 : (成田発着) 24才未満の方/150,000円、24才以上の方/170,000円
 その他燃油サーチャージ、空港税等別途かかります
 ★現地参加も可能です。その場合の参加費用は30,000円。
- 食事 : 朝5回、昼2回、夜3回
- 活動 : キルギス国内の観光、文化体験、観光開発ワークショップ、ホームステイ体験、
 日本語を学ぶキルギス人学生との交流、意見交換
- 参加条件: 大学生、社会人(30代まで)、言語力は問いません。
- 利用予定航空会社: トルコ航空
- 申込締切: ①日程-7/22(金)、②③日程-8/15(月)
- ※添乗員は同行しません。
- ※詳しくは、ウェブページをご確認ください。http://www.myedu.co.jp/



帰国後、キルギス訪問者報告会を開催します。
 各自訪問レポートや映像など訪問記録をウェブ上でアップした上で、振り返り勉強会に参加していただけます。

<参加費用に含まれるもの>

- ・日程に明示した利用国際線航空機(エコノミークラス)の往復運賃・航空特別保険料
- ・日程に明示したキルギス、トルコ国内の空港と宿泊場所間の送迎バス等の料金
- ・日程に明示した宿泊の料金
- ・日程に明示した観光に伴う入場料金
- ・お1人様につきスーツケース等20kg以内の航空機受託手荷物運搬料金
- ・日程に明示した食費
- ※上記費用は、お客様のご都合により一部利用されなくても、原則として払い戻しはいたしません。

<参加費用に含まれないものの例>

- ・上記「含まれるもの」のほかは旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- ・希望者のみが参加するオプションツアーの旅行代金
- ・食事付きと明示されている以外の滞在中の食費
- ・クリーニング代、電話代、おこづかいその他個人的に自由行動する場合の全経費
- ・日本国内のご自宅と集合地・解散地間の交通費・宿泊費・手荷物運搬費等
- ・傷害・疾病に関する医療費
- ・超過手荷物料金(規定の重量、容量、個数を超える分について)
- ・空港施設使用料、空港税・出国税等航空会社が政府その他の公的機関に代わって収受しているもの
- ・航空会社の課す付加運賃・料金(燃油特別付加運賃を含む)
- ・渡航手続関係諸経費(旅券印紙代、証紙代、ビザ代、傷害・疾病保険料、渡航手続取扱料金)
- ・個人的な別日程でキルギスに入国・出国する場合の、空港と宿泊場所間の移動交通費

<事務局からのお願い>

今回のツアーはキルギス旅行業協会各社、国内交通機関、ホテル、飲食店などキルギスの観光関連会社や団体の協力・協賛によりほぼ無償での受け入れとなっております。また、一般のキルギス人家庭でのホームステイについてもボランティアで受け入れをさせていただきます。参加者の皆様にはぜひそのことをご理解いただき、キルギス観光の今後の発展への協力、ならびに日本とキルギスとの友好にご理解とご支援を頂きますようよろしくお願い致します。

<治安について>

今回の訪問地においては2011年6月現在、大きな治安の混乱は生じておりませんが渡航安全を第一にキルギス情勢については情報収集に努めております。

旅行条件書(要旨)お申込みの前に必ず旅行条件書(全文)をお読み下さい。

1. 募集型企画旅行契約

この旅行は、株式会社毎日エデュケーションが企画・実施する旅行であり、お客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することになります。旅行契約の内容・条件は別途お渡しする旅行条件書(全文)、ご出発前にお渡しする最終旅行日程表(確定書面)によります。

2. 旅行のお申込みと契約の成立

当社所定の旅行申込書にご記入の上、申込金30,000円を添えてお申込みいただけます。電話でお申込みの場合、当社が予約の承諾を通知した日から起算して3日以内に申込金をお支払い頂きます。旅行契約は当社が契約の締結を承諾し、申込金を受理したときに成立いたします。

3. 取消料

お客様は次の取消料をお支払いいただくことでいつでも旅行契約を解除できます。

4. その他

- (1) コースに明示されていない場合はエコノミークラスを利用します。
- (2) より安心してご旅行いただくために、ご旅行中の病気や事故・盗難に備えて、海外傷害保険のご加入をお勧めします。
- (3) 渡航先の「海外危険情報」をご確認ください。海外安全ホームページ
<http://www.pubanzen.mofa.go.jp>

旅行契約の取消日	特定日に開始する旅行	特定日以外に開始する旅行
旅行開始日の前日から起算して40日前～31日以前	旅行代金の10%	無料
30日前以降～3日前以前		旅行代金の20%
2日前～旅行開始日		旅行代金の50%
旅行開始後または無連絡不参加		旅行代金の100%

【旅行企画・実施】

観光庁長官登録旅行業第1280号
 株式会社 毎日企画サービス

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル内

【企画】

株式会社 毎日エデュケーション

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9階

【お問合せ・お申し込み先】

株式会社 毎日エデュケーション 担当: 石渡
 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 パレスサイドビル9階

TEL: 03-6267-4188

FAX: 03-3215-8293

SALAM KYRSYZSTAN!

2011年8月19日(金)～8月27日(土)

ジャーナリスト佐藤慧と行く 「サラーム・キルギス・ツアー 2011 夏」 ～共に歩むアジアの未来～

「サラーム・キルギス・ツアー2011夏」8月19日出発の回に、ジャーナリスト佐藤慧さんの同行が決定しました！佐藤慧さん(studioAFTERMODE所属)は、フィールド・エディター/ジャーナリストとしてアフリカを中心に取材。各地で講演や写真展を行うなど、ジャンルを超えて活躍されています。

東日本大震災が発生した時、佐藤さんはアフリカで取材中でした。ご両親が住む陸前高田の町が津波に襲われる映像を見て、急遽帰国。震災から約1週間後、お父様の無事が確認されました。震災の日、勤務していた陸前高田の病院とご自身が、高さ20メートルを越す大津波に呑まれる瞬間を、お父様は撮影していました。そして、1ヶ月後、お母様の死が確認されました。

一方、震災直後、佐藤さんの仲間達が陸前高田市の復興支援を行うNPO「みんつな」を立ち上げ、佐藤さんも、「みんつな」の共同代表として、支援活動と取材活動を続けています。

今回、サラーム・キルギス・ツアー主催のキルギス側から「東日本大震災の被災者または被災地支援活動をおこなっている若者を招待したい。現地でキルギスの若者たちに、震災や支援活動について話してほしい」という申し出があったので、佐藤慧さんにお話したところ、快諾してください、今回の「ジャーナリスト佐藤慧と行くサラーム・キルギス・ツアー2011年夏/8月19日出発」の実現となりました。

佐藤慧さんと一緒にキルギスを体験したい方、そして、この出発日程がご都合の良い方も、是非、8月19日出発の「サラーム・キルギス・ツアー2011年夏」にご参加ください！



佐藤慧さんからのメッセージ

キルギスという国をご存知でしょうか？
中央アジアに位置する小さな国が実は日本と繋がっているなんて、想像も出来ないかもしれま

せん。キルギスの人々はその容姿も日本とよく似ており、昔に遡ればキルギス人と日本人は兄弟だったという話も残っているほどです。震災発生直後に緊急援助物資として、キルギス政府が宮城県に大量の水を送ったことは余り知られていません。自国の政局も安定しないなか、遠く離れた日本に心を寄せてくれるキルギスの人びと。家族が被災し、今後も復興支援に携わるひとりの人間として、僕はキルギスの人びとに感謝の言葉を伝えに行きたいと思います。今後も永く、国境を超えて活発に交流が行われることを願っています。

佐藤慧さんのプロフィール

大阪芸術大学音楽学科中退。世界を放浪。2007年に初アフリカ訪問。ケニアとタンザニアを旅する。その後、アメリカのNGO職員としてザンビアではHIV/AIDSや公衆衛生、中南米ではボランティア教師として働く。2009年、ザンビアでは学校建築プロジェクトを立ち上げ完遂。現在は、フィールドエディター/ジャーナリスト(studioAFTERMODE所属)として、ザンビア、コンゴ民主共和国を中心に取材。東日本大震災で、両親の住んでいた町、岩手県陸前高田市の復興支援を行っている。震災で、最愛の母を失った。

漕ぎ出そう、未来へ。ザンビアの青年



(c)KeiSATO/studioAFTERMODE



あの津波から、たった一本残った「希望の松」



360度、どこまでも続く瓦礫の平野